

## 事業実績報告書

様式2  
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-12	講座名	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう！～
記載日	2019/9/3	団体名・企業名	NPO法人藤前干潟を守る会

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

実際に干潟に入って生きもの触れ合うことにより、今までただの泥のとは見えなかった干潟に、驚くほど多種多様な生きものが生息していることを知ってもらう。そして、上流からの栄養が小さな命を育み、まわりまわって大きくなった魚などを私たち人間が食べるという「命のつながり」についても伝え、干潟はもちろんのこと、上流を含めた流域全体の環境を守る重要性に気づいてもらう。

さらに、藤前干潟が国際的にも重要な湿地であることも伝え、渡り鳥たちの命をささえていることを伝える。



6月8日、藤前側のドロ干潟にて。みんな英語で頑張りました。

8月4日、藤前活動センターにて。ヤドカリに麻酔をかけて、貝からそっと外します。

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

今年は梅雨明け前まで予定より潮の引きが悪く、ドロ干潟に入れるか入れないか、いつもギリギリで悩ましかった。さらに梅雨明けからは猛暑が続き、特に午後からのプログラムでは熱中症予防に注意を払った。

そんな中、昨年の夏休みプログラムに参加してからすっかり干潟の魅力にはまったという滋賀県の家族が今年も2回参加してくださったり、「面白かった」「また次も参加したい」等の声をいただけてとてもうれしく感じている。ただ「もっと長く干潟にいたかった」という声も毎回多くいただくが、干潟が出ている時間は限られており、こればかりは

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- ・初めて干潟に入れて貴重な体験だった。実際に生き物がいるところで、本物を探すのはとても楽しいと思う。

- ・ The children and adults were engaged equally in informative presentations and hands-on activities. A good time was had by all.

- ・初めての参加でしたがいい経験でした。もう少し時間が長いと嬉しかったです。(干潮時間で仕方ないですが) ・親子で一緒に楽しめた。また参加したいです。